

編集後記

夢中にさせる看図アプローチ

「自分の意見を書いたり、考えたり、チャットで発信できたりしたので夢中になり気がついたら講義が終わっていてビックリしました。」これは、石田ゆき先生の看図アプローチを活用した授業を受けた大学生の感想です。本誌掲載の石田論文の中にあります。

笑顔がつづく看図アプローチ

「(写真)みてください。2時間46分29秒も経過した研究会で、参加しているすべての方が笑顔です。参加した人を笑顔にする。そして、真剣に授業と向き合う。こんな素敵な研究会、なかなかないと思います。」これは、長崎県央看護学校看図アプローチ研究会の様子をまとめてくれた山下雅佳実先生の文章です。本誌掲載の山下他論文の中にあります。

真剣さを引き出す看図アプローチ

三上洋華論文は、自身が看図アプローチ基盤型の授業づくりに取り組んだ記録です。これまで、私たちの研究会では手薄だった「食の指導」領域に看図アプローチを活用してくれています。一読していただければ、彼女がどれだけ真剣に授業づくりに向き合ってきたかがわかります。そして、看図アプローチを取り入れれば「真剣に授業と向き合う」という、山下他論文にあることばを実感できると思います。

ご縁をつなぐ看図アプローチ

山下他論文は長崎県央看護学校の第13回看図アプローチ研究会の報告です。この研究会は、長崎県央看護学校の先生お二人が鹿内のワークショップを受けてくれたことから始まりました。そこからご縁をつないでいただきて「第13回」です。長崎県央看護学校は、全校体制で看図アプローチに取り組んでくれている実践校です。このようにパワフルな実践がどのようにして生まれてきたのか、その詳細は『全国看図アプローチ研究会研究誌』1号の田中伸子論文「なぜ看図アプローチなのかー協同学習ツールとしての意味ー」でも解説されています。5号にはさらに深い縁が記されています。論文を執筆してくれた、石田ゆき・山下雅佳実・三上洋華は「出藍の誉れ」なのです。皆さん、わたしの元学生・現学生です。石田ゆき・山下雅佳実は、それぞれ強力なエンジンをもっており、全国看図アプローチ研究会を駆動させてくれています。これほどありがたいことはありません。

克服力を生み出す看図アプローチ

石田実践はオンライン授業として行われました。山下他論文はオンライン研究会の記録です。三上実践は、この厳しい状況の中でまとめられました。看図アプローチは困難な状況を克服する力を与えてくれます。看図アプローチに関心をもってくださっている皆さまとともに、様々な困難を乗り越えていきたいと思っています。

文責 鹿内信善

————— 全国看図アプローチ研究会研究誌 5 号 ————

発行年月日 2021 年 1 月 22 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員
石田 ゆき
伊藤 公紀
鹿内 信善 *
萩尾耕太郎
山下雅佳実
渡辺 聰
(* 印は編集代表)

発 行 全国看図アプローチ研究会 
kanzu-approach.com

事務局長 山下雅佳実 (中村学園大学短期大学部)

編集長・DTP 石田ゆき